

プロジェクトの骨子

【大前提】

1. 楽器への深い理解を促すことで、顧客の人生に輝きを与える
2. アーティストや業界ではなく、顧客中心で考える
3. 業界都合によるファン流動性の低さを解消し、共存共栄を計る

【施策】

ソロコンテンツを主体としながら、ときおり合奏コンテンツをサービスする

これまで不可能だった企画を実現させる（アーティスト同士、楽器店等とのコラボ）

【目標設定について】

本サービスの需要や社会的意義は、長期的な視点では会員数に反映されると考えられる。ユーザー満足度や世間の評価も、最終的には会員数の増減に繋がるからである。そのため、数値目標にかかる指標として会員数を最重要視する。